

2022年8月10日

各位

会社名 S R E ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役 社長 兼 CEO 西山 和良
 (コード番号:2980 東証プライム)
 問合せ先 取締役 CFO 兼 コーポレート本部長
 益子 治
 (Tel. 03-6274-6550)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
 一部修正について

当社は、2022年7月29日に開示いたしました「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、四半期報告書を作成、確認作業を進める過程において記載内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、提出済の決算短信を訂正させていただくものであります。なお、当該修正による連結損益計算書への影響はありません。

2. 訂正の内容

サマリー情報1ページ

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(2) 連結財政状態

【訂正前】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,502	9,939	45.9
2022年3月期	23,018	9,798	42.3

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 9,863百万円 2022年3月期 9,729百万円

【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,543	9,980	46.0
2022年3月期	23,018	9,798	42.3

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 9,904百万円 2022年3月期 9,729百万円

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

セグメント別の業績

【訂正前】

<AIクラウド&コンサルティングセグメント>

<省略>

その結果、クラウドソリューション・アナリティクス&トランスフォームともに獲得数が着実に伸長し、ARRを積み上げたことで、当第1四半期連結累計期間におけるAIクラウド&コンサルティング事業の売上高は690,670千円(前年同期比305,899千円増(79.5%増))、営業利益は254,330千円(前年同期比98,030千円増(62.7%増))となっております。

<不動産テックセグメント>

<省略>

その結果、アセットマネジメント&コンサルティング・スマートプロパティともに概ね計画どおり進捗したことで、当第1四半期連結累計期間における不動産テックセグメントの売上高は2,404,926千円(前年同期比936,534千円増(63.8%増))を達成しましたが、不動産仲介において一部案件が後ろ倒しになった他、アセットマネジメント事業の体制整備費用が高んだこと等から営業損失が4,199千円(前年同期比42,790千円減)となっております。

【訂正後】

<AIクラウド&コンサルティングセグメント>

<省略>

その結果、クラウドソリューション・アナリティクス&トランスフォームともに獲得数が着実に伸長し、ARRを積み上げたことで、当第1四半期連結累計期間におけるAIクラウド&コンサルティング事業の売上高は690,669千円(前年同期比305,898千円増(79.5%増))、営業利益は254,329千円(前年同期比98,029千円増(62.7%増))となっております。

<不動産テックセグメント>

<省略>

その結果、アセットマネジメント&コンサルティング・スマートプロパティともに概ね計画どおり進捗したことで、当第1四半期連結累計期間における不動産テックセグメントの売上高は2,404,925千円(前年同期比936,533千円増(63.8%増))を達成しましたが、不動産仲介において一部案件が後ろ倒しになった他、アセットマネジメント事業の体制整備費用が高んだこと等から営業損失が4,198千円(前年同期比42,789千円減)となっております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

【訂正前】

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ 1,516,523 千円減少し、21,502,380 千円となりました。

〈省略〉

固定資産は、前連結会計年度末より 46,802 千円増加し、2,698,896 千円となりました。これは主に投資その他の資産が 102,959 千円増加したことによるものであります。

〈省略〉

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 140,905 千円増加し、9,939,237 千円となりました。これは主に、新株予約権の行使及び株式報酬制度に基づく譲渡制限付株式の発行により資本金が 33,738 千円、資本剰余金が 33,738 千円増加したことによるものであります。また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が 66,613 千円増加しております。

なお、自己資本比率は 45.9% となっております。

【訂正後】

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ 1,475,645 千円減少し、21,543,258 千円となりました。

〈省略〉

固定資産は、前連結会計年度末より 87,680 千円増加し、2,739,774 千円となりました。これは主に投資その他の資産が 143,837 千円増加したことによるものであります。

〈省略〉

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 181,783 千円増加し、9,980,115 千円となりました。これは主に、新株予約権の行使及び株式報酬制度に基づく譲渡制限付株式の発行により資本金が 54,177 千円、資本剰余金が 54,177 千円増加したことによるものであります。また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が 66,613 千円増加しております。

なお、自己資本比率は 46.0% となっております。

添付資料5ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

【訂正前】

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999,148	1,955,281
売掛金及び契約資産	411,868	481,274
営業出資金	649,696	646,003
棚卸資産	15,813,956	15,065,298
その他	390,538	566,494
貸倒引当金	△1,196	△1,196
流動資産合計	20,264,011	18,713,157
固定資産		
有形固定資産	615,358	527,929
無形固定資産		
ソフトウェア	605,052	644,171
のれん	151,339	147,900
その他	29,536	25,130
無形固定資産合計	785,929	817,202
投資その他の資産	1,250,805	1,353,764
固定資産合計	2,652,093	2,698,896
繰延資産		
株式交付費	102,798	90,327
繰延資産合計	102,798	90,327
資産合計	23,018,904	21,502,380
〈省略〉		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,088,600	4,122,339
資本剰余金	4,088,600	4,122,339
利益剰余金	1,554,424	1,621,038
自己株式	△1,233	△1,233
株主資本合計	9,730,392	9,864,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△686	△981
その他の包括利益累計額合計	△686	△981
新株予約権	68,626	75,735
純資産合計	9,798,332	9,939,237
負債純資産合計	23,018,904	21,502,380

【訂正後】

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999,148	1,955,281
売掛金及び契約資産	411,868	481,274
営業出資金	649,696	646,003
棚卸資産	15,813,956	15,065,298
その他	390,538	566,494
貸倒引当金	△1,196	△1,196
流動資産合計	20,264,011	18,713,157
固定資産		
有形固定資産	615,358	527,929
無形固定資産		
ソフトウェア	605,052	644,171
のれん	151,339	147,900
その他	29,536	25,130
無形固定資産合計	785,929	817,202
投資その他の資産	1,250,805	1,394,642
固定資産合計	2,652,093	2,739,774
繰延資産		
株式交付費	102,798	90,327
繰延資産合計	102,798	90,327
資産合計	23,018,904	21,543,258
〈省略〉		
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,088,600	4,142,778
資本剰余金	4,088,600	4,142,778
利益剰余金	1,554,424	1,621,038
自己株式	△1,233	△1,233
株主資本合計	9,730,392	9,905,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△686	△981
その他の包括利益累計額合計	△686	△981
新株予約権	68,626	75,735
純資産合計	9,798,332	9,980,115
負債純資産合計	23,018,904	21,543,258

添付資料 9 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(重要な後発事象)

【訂正前】

〈省略〉

(3) 代表者の役職・氏名 代表取締役 小林 竜大

(4) 事業内容 BtoB セールス支援事業、メディア運営事業等

〈省略〉

【訂正後】

〈省略〉

(3) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 小林 竜大

代表取締役 福山 敦士

(4) 事業内容 BtoB セールス支援事業、セールステック事業

〈省略〉

以上